

## 第6次所沢市総合計画後期基本計画素案に対するご意見と市の考え方

### ご意見と市の考え方

---

令和6年4月19日から令和6年5月20日にかけて実施しました第6次所沢市総合計画後期基本計画素案のパブリックコメント手続きにつきまして、皆様から寄せられたご意見の内容とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見をいただきました皆様の御協力に厚く御礼申し上げます。

#### 1 意見募集の概要

- (1) 募集期間 令和6年4月19日から令和6年5月20日まで
- (2) 意見受付 電子メール、電子申請、FAX、直接持参、郵送

#### 2 意見

- (1) 人数 11名
- (2) 件数 80件\*

\* 令和6年6月28日に意見を1件（No.80）追加しました。

令和6年6月20日  
所沢市 経営企画部 経営企画課  
TEL 04-2998-9027  
E-mail a9027@city.tokorozawa.lg.jp

## 第6次所沢市総合計画後期基本計画素案に対するご意見と市の考え方

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
1			1.3.2 財政状況	歳入と歳出を1つにまとめること。(少なくともグラフは1つにまとめる) 下記の表記を止めて、表形式にまとめた方が、見やすくなると思います。 <引用> 1.3.2.1 歳入(一般会計)の推移・歳入の見通し 前期基本計画期間における一般会計の歳入については、令和元年度は 1,176 億円、令和 2 年度は 1,505 億円、令和 3 年度は 1,256 億円、令和 4 年度は、1,267 億円となりました。 <引用終わり>	貴重なご意見ありがとうございます。 計画冊子のレイアウト等の構成におきまして、視認性が向上できるよう、頂いたご意見も踏まえながら検討いたします。
2			歳出	市民説明会の資料には「所沢市のお財布事情」として、令和4年度決算の目的別グラフがあり、民生費が約半分を占めているのがわかります。さらにこの民生費を科目別に示すと課題が明確になるので追記すべきと考えます。さらに、その表から読み取れる課題への取り組みを明記してください。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘のとおり、財政状況に関する詳細な情報につきまして、市民の皆さまにお伝えすることは大切なことだと認識しております。 しかしながら、計画冊子上で記載できる情報には限りがございますので、詳細内容が掲載されたホームページリンクを掲載する等して対応することを検討いたします。
3			1.4.1 所沢市市民意識調査	<引用> 1.4.1 所沢市市民意識調査 所沢市市民意識調査において所沢市への愛着度及び定住意向を調査しています。 前期基本計画期間における所沢市への愛着度については、令和元年度は 86.7%、令和 2 年度は 87.4%、令和 3 年度は 87.6%、令和 4 年度は 88.7%、令和 5 年度は 86.5%という結果になりました。所沢市への定住意向について、令和元年度は 79.3%、令和 2 年度は 83.7%、令和 3 年度は 81.5%、令和 4 年度は 82.3%、令和 5 年度は 80.1%という結果になりました。 <引用終わり>  所沢市の愛着度・定住意向の推移 H28が前年度比較で、どちらも5ポイント以上上昇していますが、その分析結果を簡単でよいのでコメントした方が良いと思います。私見ですが、H27(=2015)エアコン設置に伴う住民投票があった年でそれがこの変動の背景だと分析しています。このような分析コメントがあれば、今後、愛着度・定住度を安定させるための対応にもつながると思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 所沢市への愛着度・定住意向について、政策との因果関係を断定することは難しいため、本計画における表記につきましては、当該表記のままいたします。 頂いたご意見は今後の市民意識調査の分析や報告書等において、参考にいたします。
4			1.5.1 誰にでもわかりやすい計画づくり	<引用> 1.5.1 誰にでもわかりやすい計画づくり 総合計画は、行政運営の目標を示すだけでなく、市民や事業者と行政が課題や方向性を共有し、まちづくりを進めていくための共通目標です。このため、市民の目線に立った、わかりやすい内容や表現に努め、誰にでもわかりやすい計画づくりに努めました。 <引用終わり>  誰にでもわかりやすくするために下記を提案します。 年の表記を、西暦主体とすること 金額の表記を単位:億円で統一すること 数字の表形式にまとめること 評価指標の統一性を持たせること  年の表記を、西暦主体とすることは、平成から令和への改元があったので、西暦主体の方が、年で比較をする際に、イメージしやすいと思います。現在は、金額の表記が億円、百万円とまちまちになっています。統一した方が誰にでもわかりやすくなると思います。一般的には、百万円単位よりも億円単位の方がイメージしやすいこと所沢市の令和6年度の予算が、1,216億円なので、1億円でも全体の0.1%未満なので、億円単位にしても方向性を見間違える可能性はないと考えられることが、その理由です。	貴重なご意見ありがとうございます。 年度や暦年の表記につきましては、これまでの策定過程において様々な意見を頂いております。本計画素案では、基本的には和暦を使用し、計画書表紙や大項目等においては和暦と西暦を併記することで分かりやすい表記に努めているところです。 金額の表示につきましては、「億円」で統一しますと、中長期財政計画より引用した表の値の年度ごとの比較が分かりづらくなってしまいますので、当該表におきましては、単位を「百万円」のままとします。 数字の表形式につきましては、計画冊子のレイアウト等の構成におきまして、頂いたご意見も踏まえながら検討いたします。 評価指標の統一性につきましては、これまで審議会や策定委員会等において検討を進めてきているところですが、今後の事務の参考にいたします。
5			まちの未来に向けた取組	「子どもたちの健やかな育ちをみんなで支えることで、あらゆる世代の定住・流入や雇用・産業の創出を促し、まちの元気を生み出して…」に賛成です。	貴重なご意見ありがとうございます。 個別計画であり、現在策定中の「所沢市こども計画」において、子ども目線の指標を設定する予定です。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
6			まちの未来に向けた取組 中核市への移行準備	新市長の公約かも知れませんが、慎重に進めていただきたい。 1) 例えば、P.3 表2「歳出の見通し」では令和7年度から10年度にかけて人件費の伸びは殆どないが、中核都市となれば追加の人員、従ってその費用は伸びるはずである。矛盾していないか？ 2) 街への誇りを高めるためであれば、中核都市という形式的なものよりも、本来的なシビックプライドを高めるような施策をすべきと考えます。所沢市は住民意識調査の結果(P.4)を見ても、行政としては十分よく取り組んでいると思います。しかし、市民向けの議会報告会やこの第6次基本計画への市民参加者数を見ても、主体性や関心は残念ながら少ないと思います。これは自分事化できていない住民側の問題であると思います。市民の参画意識の向上を具体的にどのようにすれば良いか、市民や専門家を交えて広く対話を辛抱強く重ねていただけるよう要望します。	1) 中核市移行に伴う人員・費用は、庁内外での調整が必要であり、今後精査する予定であるため、本計画に反映していませんが、今後の検討状況に合わせて市民の皆さまにもお示しできるよう努めてまいります。 2) 貴重なご意見ありがとうございます。計画の策定に当たっては、審議会及び市民検討会議にご参加いただく市民委員について「所沢市市民参加を進めるための条例」の規定も踏まえ、無作為抽出による公募を行い、募集枠を超えるご応募をいただきました。今後も引き続き多くの市民の皆さまに関心を持っていただけるよう、頂いたご意見も踏まえ、取組を進めてまいります。
7			リーディングプロジェクト	「子どもを中心としたまちづくり」とするリーディングプロジェクトに賛成します。同時に、「子どもを中心とした」とは、子どもだけではなく、あらゆる市民を対象に、だれもが生き生きと豊かに暮らせる所沢を目指しているものと解釈しています。	貴重なご意見ありがとうございます。
8	1	1	評価指標	<引用> 第1節 地域づくり 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 地域のつながりが強くなったと回答した人の割合 % R5 R10 9.7 12.4 <引用終わり>  「地域のつながりが強くなった」という過去との比較ではなく「地域のつながりが強いと回答した人の割合 %」で目標を設定した方がよいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 評価指標としている「地域のつながりが強くなった」と回答している人の割合は、毎年度実施している「所沢市市民意識調査」の項目を使用しています。本調査では、ご提案いただいた「地域のつながりが強いと回答した人の割合」は設問として設けておらず、経年での変化を測り、その変化を分析し、施策に反映していくためにも、今回の案で評価することが望ましいと考えます。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
9	1	1	節全般	市民活動団体に関しては高齢化による活動継続が困難になってきている現状を打破する政策として、シルバー人材センターの活用による人的支援をする。	貴重なご意見ありがとうございます。 シルバー人材センターの活用に限らず、ご自身の得意なものを活かしながら、地域に協力・連携していくことは大切だと考えます。 今後の事務の参考にいたします。
10	1	4	評価指標	<引用> 第4節 高齢者福祉 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 老人福祉センター・老人憩の家を利用する活動的な高齢者数 人 R4 R10 160,346 240,000 <引用終わり>  人数ではなく、老人福祉センター・老人憩の家を利用する活動的な高齢者の割合(%)で、目標を設定した方がよいと思います。 240,000人は延べ人数のようですが、この人数は現在既に利用している方が回数を年に数回増やすことでも、目標達成してしまうかもしれません。 老人福祉センター・老人憩の家を利用する活動的な高齢者を増やすことにより健康寿命を伸ばす等の波及効果を考慮すると、割合(%)にした方がよいと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 目標の設定につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者の経年変化を分析する上で、現状の評価案とすることが望ましいと考えております。 また、既に利用されている方は定期的な利用が多いことから、延べ人数の増加への影響は少なく、新しい利用者を増やすことで、延べ人数が増加し、ご指摘いただいたとおり、老人福祉センター・憩の家での活動が、地域活動に波及することで、健康寿命を伸ばす等の効果があるものと考えております。
11				基本方針に高齢者にかかわる記述がされているのは、27ページのみになっています。第3章「健幸長寿のまち」の基本方針では高齢者にかかわる記述がありません。もう少し具体的に記述するべきではないでしょうか？	貴重なご意見ありがとうございます。 第3章「健幸(けんこう)長寿のまちづくり」に関しましては、高齢者に限らず、全年齢層が対象となる施策であることから、特に高齢者に対象を絞った記載はしていません。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
12	1	5	節全般	地域で活躍する人材の育成には、「市民大学」と「高齢者大学」がおおいに役割を果たしてきました。そしてその修了生の多くが地域活動を支えてきました。「高齢者大学」がなくなった今、「市民大学」および修了生の役割はますます高まっています。生涯学習推進センターがそれらの活動を継続して支援することが、地域づくりを支えることにつながります。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後も引き続き市民の主体的な学習を支援し、学びの成果がまちづくりにつながるように取り組んでまいります。
13	1	5	評価指標	<p>&lt;引用&gt; 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 生涯学習・社会教育に関する施策の満足度 % R5 R10 20.1 現状値以上 説明 生涯学習・社会教育の施策に対する市民満足度を測る指標です。 数値は、市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「生涯学習・社会教育」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。 目標 令和 10 年度までに現状値以上をめざすものです。 &lt;引用終わり&gt;</p> <p>あまりにも目標値が低すぎると思いますので、目標値を引き上げるべきです。引き上げることが難しいのであれば、長期の目標値と、そのロードマップを併記すべきです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 当該数値は毎年実施する所沢市市民意識調査を基に目標値を設定したものです。市民意識を問う指標であるため、年々改善することを目的に「現状値以上」としております。 なお、当該数値につきましては、毎年、行政評価の実施による評価・分析を行い、当該結果を踏まえ、生涯学習・社会教育の施策の改善へとつなげてまいります。</p>
14	1	5	全般	市民相互の学びあいを阻害している要因としては、学校教育や企業文化の中では俯いての座学や空気を読んで発言しない文化にあるかと思います。何を学ぶかというよりも、どのように学ぶかを学ぶために対話やファシリテーションを教える機会を市民に提供していただきたい。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
15	1	6	課題	<p>&lt;引用&gt; 第6節 危機管理・防災 新設した臨時災害FM放送局について、災害時に開局する周波数を継続して広く周知していく必要があります。 &lt;引用終わり&gt;</p> <p>77.1MHz を書き足すことを提案します。 そうすれば、少なくとも、この計画書を拝読してくれた方には周波数が周知されます。 周波数周知には、このような地道な対応が必要だと思います。</p> <p>&lt;ご提案&gt; 第6節 危機管理・防災 新設した臨時災害FM放送局について、災害時に開局する周波数(77.1MHz)を継続して広く周知していく必要があります。 &lt;ご提案終わり&gt;</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 現時点で総務省より承諾を得ている周波数は77.1MHzですが、計画期間中において変更となる場合もありますので、記載しないこととします。</p>
16	1	6	課題	<p>&lt;引用&gt; 2) 課題 「消防団入団促進」における企業訪問については、消防団員の減少に対し一定の理解が得られたものの、実際に社員等が入団するまでには至りませんでした。避難行動要支援者の個別避難計画の作成にあたり、自治会・町内会、民生委員等の役割等を周知する必要があります。新設した臨時災害FM放送局について、災害時に開局する周波数を継続して広く周知していく必要があります。災害発生時には初動対応が重要となるため、地域防災計画の内容をこれまで以上に市民へ周知する必要があります。 &lt;引用終わり&gt;</p> <p>課題の順番を変更することを提案します。 私の感覚では、個別避難計画の作成、地域防災計画の周知、周波数(77.1MHz)の周知、「消防団入団促進」の順番で重要性が高いと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 課題の順番は優劣による順序ではなく、基本方針の順序に概ね対応するよう配置しているものです。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
17	1	6	評価指標	<p>&lt;引用&gt; 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 消防団員の確保 人 R4 R10 270 285 説明 地域における総合的な防災力の強化を測る指標です。 数値は、消防団員の人数です。 目標 令和 10 年度までに 285 人以上の確保をめざすものです &lt;引用終わり&gt; 評価指標を変更することを提案します。</p> <p>個別避難計画の作成(100%)、地域防災計画の周知(地域防災計画を知っている人85%)、周波数(77.1MHz)の周知(臨時災害FM放送局周波数(77.1MHz)を知っている人85%)、消防団員の人数(285人以上)</p> <p>評価指標を1つに絞るのであれば、個別避難計画の作成(100%)だと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 市といたしましては、地域防災体制の強化、災害発生時の体制の構築のため、消防団の役割は大きいものと考えます。 より分かりやすい指標とするため、「地域防災力の要となる消防団員の確保」といたします。</p>
18	1	6	節全般	<p>市役所業務のBCP(Business Continuity Planning)に関する記載が全くないようです。追加する必要があると思います</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 地域防災計画で定められた本市が取り組むべき事項を実施するための細部計画がBCPであり、市職員が行う内部的な詳細の実施手順を定めた内容でありますので、記載しないこととします。</p>
19	1	6	節全般	<p>旧庁舎・公民館跡地を防災公園・防災機能を備えた体育館の建設。人口増加が著しい旧庁内においては最後に残された貴重な場所です。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 周囲の歴史的な経緯や銀座通りも含めた地理的特性を考えると大きな可能性を秘めた場所であると考えております。 ご提案の件につきましては、市民の皆さまの貴重なお声の一つとして承ります。</p>
20	1	7		<p>困った時の相談窓口である所沢消費生活センターへの電話がなかなかつながらない。そもそもその問題の存在を把握しているか怪しく思います。きちんと把握して対処策を検討していただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 当市の消費生活相談は開設日に原則1日3名の相談員で対応しておりますが、電話による相談が重なりますと電話が繋がらない時間帯もございます。その場合は大変申し訳ございませんが、時間をおいてご相談ください。なお、お急ぎの場合は、県の消費生活支援センターでもご相談を受けております。頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。 また来所面談による相談も受け付けておりますが、こちらも混雑時はお待ちいただくこととなります。ご迷惑をおかけして申し訳ございませんが、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
21	1	8		<p>交差点に置いて赤信号に変わっても突っ込んでくる車が少なからず見受けられる。市民のモラルが低い。本来警察の管轄ではあるが、市としても対策を促したい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 市としましては、警察と連携しながら車の利用者を含めた市民の方に対し、交通マナーの向上に向けた啓発活動を実施してまいります。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
22	2		章全般	子どもが大切にされるまちというテーマが掲げられていますが、子ども目線での指標がないようです。例えば、入間市の総合計画は、指標に学校満足度、不登校出現率、いじめの発生率、小1プロブレム、中1ギャップ問題の状況を入れてあります。我が家は、南陵中区域です。二度と悲しいことが起きないように、子ども目線での指標を入れて下さい。不登校出現率、いじめの発生率の方が、埼玉県学力・学習状況調査における学力レベルの伸びよりも重要性が高いはず。小野塚市長が、所沢祭りの日に、小学生か中学生から、いじめ対策をやってほしいというお願いをされたこと、そして、市長がいじめ対策をきちんとしたいと思われることを、伝聞ですが、聞きました。これが事実でないとしても、子ども目線での指標がなければ、子どもが大切にされるまち かどうかを判断することは不可能だと思います。これが事実ならば、なおのこと、子ども目線での指標をきちんと入れるべきだと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 個別計画であり、現在策定中の「所沢市こども計画」において、子ども目線での指標を設定する予定です。 また、本計画の教育委員会所掌事務を対象とした「第3次所沢市教育振興基本計画」におきましても、子ども目線での指標を設定しております。 これらを踏まえながら必要な取組を進めてまいります。
23	2	1	章全般	「子どもの権利条約」についてその文言も含めて、一言も触れられていない。例えば、第12条「意見を表す権利」として「子どもは、自分に関係のあることについて自由に自分の意見を表す権利をもっています。その意見は、子どもの発達に応じて、じゅうぶん考慮されなければなりません。」とあります。言い換えると、この街の総合計画素案に関して、分かり易く子どもに伝えた上で、意見を訊いていくことが有益と考えます。それが取りも直さず、学習指導要領で提唱されている「主体的・対話的で深い学び」を促進する課外活動(教室の外での活動)にもつながり、ひいてはシティズンシップ教育としても機能すると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 総合計画の策定において、こどもの意見をより積極的に取り入れていくことに関しましては、今後の参考にいたします。 なお、個別計画である「所沢市こども計画」の策定にあたり、こども・子育て支援策の当事者でもあるこどもを対象にアンケートを実施しました。今後も、機会を捉えてこどもの意見聴取に努めてまいります。
24				三ヶ島地区は低所得者も多く、働きたくても学童に入れないご家庭が多い。今回小学校においてアンケートを実施したが、回答の90%が子どもの放課後・長期休暇の居場所に困っているとの結果が得られた。学童クラブが必要との回答も80%で、主な理由に学童のお金も払えないから入れない。との回答もあった。学童が設置できないのであれば地域で見守りができる施設とその利用料(空き家や貸家)・有償ボランティア等の人件費などを補助してもらえただけでも地域での活動が広がる。また、学童に入れない子どもの受け皿としての役割や、一時預かりなど幅広く今の子育て世代の必要な場所となる。実際、ニコニコハウスにいる子どもたちは学童に入れなかった子だが、半分の子どもはなにかしらの障害の境界域で、ひとりで留守番はむずかしい。また、子どもたちと触れ合う機会が少ない高齢者にとってが子どもたちとお話しをしたいと来られる人が多い。地域の多世代交流のきっかけにもなり、子どもたちや保護者にとっても安心できるものとなる。「地域で子育て」というのであれば、新しい施設をたくさん作るより前述のような補助金を増やした方が予算も少なく地域活性にもなるのではないか。	貴重なご意見ありがとうございます。 本市には民間の学童が数か所あると認識しておりますが、それぞれ事業者が独自に利用料等を設定して運営しており、これに対する市の補助事業はございません。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。  なお、放課後児童クラブの保育料につきまして、ご家庭の課税状況等に応じて保育料を減免する制度もございます。
25	2	4	課題	<引用> 第4節 青少年健全育成 2) 課題 「三つ葉の提言」の普及や行動目標の実現に向けた取組を進めるとともに、親子で取組む事業を充実していく必要があります。 <引用終わり>  簡単でよいので「三つ葉の提言」の説明を追加した方が良いと思います。 理由は77.1MHzと同じです。そうすれば、少なくとも、この計画書を拝読してくれた方には「三つ葉の提言」が周知されます。周知には、このような地道な対応が必要だと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、本計画の用語解説等により記載します。
26	2	4	評価指標	<引用> 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 青少年健全育成に関する施策の満足度 % R5 R10 16.2 現状値以上 説明 青少年健全育成の施策に対する市民満足度を測る指標です。 数値は、市民意識調査における施策の満足度についての設問のうち、「青少年健全育成」に関する項目に対し、「満足」「まあまあ満足」と答えた人の割合です。 目標 令和 10 年度までに現状値以上をめざすものです。 <引用終わり>  あまりにも目標値が低すぎると思いますので、目標値を引き上げるべきです。引き上げることが難しいのであれば、長期の目標値と、そのロードマップを併記すべきです。	貴重なご意見ありがとうございます。 当該数値は毎年実施する所沢市市民意識調査を基に目標値を設定したものです。市民意識を問う指標であるため、年々改善することを目的に「現状値以上」としてあります。 なお、当該数値につきましては、毎年、行政評価の実施による評価・分析を行い、当該結果を踏まえ、青少年健全育成に関する施策の改善へとつなげていくものです。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
27	2	5		<p>教育委員会の活動が全く見えて来ません。活動をより透明にすべく、情報公開・共有を進めて欲しい。 教育委員会は、文部科学省のHPには、地域住民の意向の反映が求められるとあります。それが計画案の中では見当たりません。</p> <p>文部科学省 資料「地方分権時代における教育委員会の在り方について」保護者・地域住民の参画</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 教育委員会の活動につきましては、市ホームページ、広報ところざわ、生涯学習情報紙「翔びたつひろば」、ところざわほっとメール、学校だより、SNS等の様々な広報媒体を用いて発信しておりますが、今後とも分かりやすい情報の発信に努めてまいります。 地域住民の意向の反映につきましては、総合計画の教育委員会所管事務を対象とした「第3次所沢市教育振興基本計画」目標6施策16に記載しております。</p>
28	2	5	基本方針全般	<p>どこが、この方針を実行に移すのか、主語をはっきりさせてください。教員の負担軽減、子どもたちの学校環境整備に取り組むのは教育委員会です。市内での学校間格差をなくすためには、学校教育課がリードして進めるべきです。これまでは学校長の裁量に頼る部分が大きく、校長が代わるとよい取り組みがなくなってしまったりもしました。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 主語に関しましては、特別の言及がない限り「市」です。 ご意見を踏まえまして、今後の施策へと活かしてまいります。</p>
29	2	5	基本方針全般	<p>学校だけで問題を解決しないための学校・家庭・地域の連携・協働を絵に描いた餅にしないよう、学校だけで何とかしようとする学校文化を変えることが子どもたちのためになります。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 教育委員会としましては、学校・家庭・地域の社会総がかりで子どもたちを育むための「コミュニティ・スクール」(学校運営協議会)を段階的に導入し、協働して学校運営を進めております。</p>
30	2	5	2-5-2 豊かな心の育成、2-5-3 地域が信頼する学校づくりの推進	<p>子ども同士のいじめだけでなく、教師がいじめを助長する、教師自身が生徒をいじめるケースもあり、それが原因で、善良な若い教師がやめてしまうこともあるようで、ここに、教師の心の育成、支え合う教師集団の育成も入れてください。教師力・学校組織力の育成を図ると同時に、教師の労働者としての権利を保持するために、教育委員会として教職員組合への加入を促進することも一案だと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご意見を踏まえまして、関連のある教師の研修体制の項目において、資質・能力の向上を高めることを記載します。</p>
31	2	5	2-5-5 学校環境整備の推進	<p>2-5-5 校舎の断熱化を文章に入れてください。冷暖房の効果が上がります。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 耐用年数や部材供給等の観点から、工事の必要性が高いと見込まれる「トイレ改修や既存照明のLED化」は明文化しています。その他の改修内容等につきましては、財政面や施設状況等を勘案し、個別に判断しており、校舎の断熱化に関しましては、長寿命化改修工事の際に検討してまいります。</p>
32	2	5	2-5-7 教育環境の充実	<p>2-5-7 私立学校とはどこを指すのか。連携を進めてほしいのは、市内にある秋草学園短期大学、早稲田大学、また、各種専門学校(福祉、栄養など)、コンピア・インターナショナル・スクール。新設される開智所沢には、市民がどの程度、通うのか疑問。一番充実してほしいのは、公立の小中学校です。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 具体的に示すことで範囲を狭めることなく、市内にある私立学校、地域、行政との連携を進め、互いに教育環境の充実に寄与していくことが大切なことだと考えます。</p>
33	3			<p>ここに保健所設置の件も書き込むべき</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 中核市移行に伴う保健所の設置に関することにつきましては、「まちの未来に向けた取組Ⅱ 中核市への移行準備」において追記することを検討してまいります。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
34			第3章第1節、第3章第5節	昨年、1回だけの市民向け体力測定イベントがありました。毎年、年齢を問わず、希望する市民に向けて体力測定をしていただきたい。励みになります。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 健康増進という観点による、運動機能の計測を目的とした体力測定イベントは実施しておりませんが、楽しく体を動かすことによる健康づくりの取組として、手軽に取り組める「歩き」に着目した、「トコトコ健幸マイレージ事業」を実施しております。スマホアプリで歩数を計測・記録できるほか、ランキング形式で他の参加者の歩数との比較が可能となっており、市民の皆さまが日々の生活の中で楽しく健康づくりができるよう取り組んでおります。</p> <p>なお、昨年度開催しました「市民体力テスト」につきましては、市民体育館の開館20周年を記念して文部科学省が提唱する「新体力テスト実施要綱」を参考に全世代を対象に開催したものです。参加された方は、ご自身の体力を知る機会となり健康管理の参考になる催事であったと考えます。頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。</p>
35	3	1	評価指標	<p>&lt;引用&gt; 第1節 健康づくり 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 健康寿命の延伸 年 R3 R10 男性 18.49 年(83.49) 女性 21.09 年(86.09) 男性 18.99 年(83.99 歳) 女性 21.59 年(86.59 歳) &lt;引用終わり&gt;</p> <p>「の延伸」を削除し、健康寿命男性 83.99 歳 女性 86.59 歳と表記した方がわかりやすいと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 厚生労働省等が公表している健康寿命は、年齢(歳)として公表されておりますが、市町村ごとの公表がないため、市の健康寿命は、埼玉県が公表している数値を基に作成しております。埼玉県健康寿命の定義が「65歳に達した人が要介護2以上になるまでの期間」として「年」単位で公表されていることから、本計画においても「年」を単位とし、分かりやすいよう65歳を加えたものを「歳」として併記しております。また「要介護2以上になるまでの期間」を伸ばすことを目的としていることから「延伸」と表記しております。</p>
36	3	1	節全般	健康寿命の延伸を考える時、加齢性難聴問題を避けて通る事はできません。70歳以上の二人に一人、認知症の最大の要因と言われるこの課題の位置付けや取組みは重要課題です。難聴は外出や人との交流をおっくうにさせます。市民への啓蒙、脳神経が死滅する前の手立てなどにかかわる市の施策に繋がる基本方針を求めます。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 加齢性難聴は生活の質の低下につながる重要な課題と認識しております。加齢性難聴を含め、加齢に伴う様々な体の変化は食事・睡眠・運動・喫煙等の生活習慣と関係が深いことから、基本方針3-1-1「主体的な健康づくりの推進」における健康づくりの取組の中で、情報発信等に努めてまいりたいと考えております。</p> <p>また、高齢者の方も含め難聴の方に対する支援の一つとしましては、聴覚障害により障害者手帳の交付を受け、かつ補聴器装用の必要性が認められた方に対し、障害者総合支援法による補装具費として、補聴器購入費用の助成を行っております。引き続き適正な支給を行ってまいります。</p> <p>なお、加齢性難聴に関する取組につきましては、介護予防教室のテーマとする等、介護予防の一環として実施しています。第1章第4節の基本方針に介護予防を記載していますので、現状のままいたします。</p>



No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
37	3	2	評価指標	<p>&lt;引用&gt; 第2節 早期発見・疾病予防 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 大腸がん検診の受診率 % R4 R10 8.1 9.0 説明 早期発見・早期予防に関する取組の成果を測る指標です。 数値は、大腸がん検診の受診率です。 目標 令和 10 年度までに 9.0%以上をめざすものです。 &lt;引用終わり&gt;</p> <p>日本医師会の発表によれば、大腸がん検診の40～69歳*の方の受診率は、男性は44.5%、女性は38.5%となっています。あまりにも目標値が低すぎると思いますので、目標値を引き上げるべきです。所沢市の個別理由で、引き上げることが難しいのであれば、低い理由、長期の目標値と、そのロードマップを併記すべきです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 日本医師会発表の受診率は、「国民生活基礎調査」が基となっているものであり、自治体を実施する地域検診に加え、職場の健診などの職域検診も含まれております。 市の掲げる目標受診率につきましては、市が所管する地域検診のみを対象としていることから、日本医師会が掲載している受診率との間に差が生じています。自治体では職域検診の受診率の把握は困難であることから、目標値につきましては 今回記載のとおりといたします。 なお、頂いたご意見を踏まえまして、設定する目標値の定義を記載いたします。</p>
38	3	3		<p>中核都市移行とともに保健所開設の動きがあります。しかしながら保健所を作れば新たな脅威に対して十分な対策が取れるというものではないと考えます。ただ作るだけであるならば、次のプレジデント社の大阪府での事例の二の舞になるだけかと危惧します。 複数の個人病院、防衛医大等の大病院、所沢市医師会の医師・看護師、川越市／さいたま市保健所の方々をお呼びし、意見を伺うこと、更にそのヒアリング結果は市民に公開し、透明性の確保に努めていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 中核市移行前の準備手続においては、「中核市準備室」「保健所準備室」等の専門に移行事務を取り扱う部門を設置し、適切に検討してまいります。また、埼玉県との人事交流(職員派遣)、関係省庁や大学その他関係機関との連携による専門職人材の確保等の方策を講じるとともに、今後の検討状況に合わせて市民の皆さまにもお示しできるよう努めてまいります。</p>
39	3	4		<p>「紙の健康保険証を残す」と明記すべき。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 国民健康被保険者証及び後期高齢者医療被保険者証の電子化は国の法改正によるものです。なお、マイナンバーカード保険証をお持ちでない方には、従来の保険証に代わる「資格確認書」を送付する対応を想定しています。</p>
40	3	5	評価指標	<p>&lt;引用&gt; 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 スポーツを楽しんでいる市民の割合 % R5 R10 45.4 50 説明 市民がスポーツに触れることで、スポーツを楽しんでいるかを図る指標です。 数値は、市民意識調査の設問「あなたは、日常生活の中で、何らかのスポーツ、レクリエーション活動を楽しんでいますか」に対し、「楽しんでいる」「まあまあ楽しんでいる」と答えた人の割合です。 目標 令和 10 年度までに 50%以上をめざすものです。 &lt;引用終わり&gt;</p> <p>スポーツを楽しんでいる市民の割合 %ではなく、定期的に運動している市民の割合 %で評価指標を設定した方が良いと思います。もちろん、楽しんでいる方がよいとは思いますが、この評価指標の究極の目的は、健康寿命を伸ばすことだと思うので、楽しんでいるかどうかを評価指標にする必要はないと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。 ご指摘いただいた「定期的に運動している市民の割合」は、個別計画である「第3次所沢市スポーツ推進計画」において、「健康体力づくりの推進(スポーツをする)」に対する指標として「週1回以上スポーツを実施する成人の割合(スポーツ実施率)」を掲げております。 また、「市民の誰もが、スポーツにふれ、スポーツで笑顔があふれるまち」を基本理念として、スポーツを「する」だけではなく、「みる」、「ささえる」といった多様な関わり方を推進しているところです。 本市のスポーツ推進を図るため、第3章第5節では、本指標を設定し、スポーツを楽しむ市民を増やす施策を展開していきます。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
41			第1節脱炭素社会、第2節産業競争力・成長力	農業生産物の中に「電気」を含める発想が求められます。石油や電気が世の中になかった時代には、農家は作物のほか柴や薪などエネルギー源も販売していました。 所沢市は再度「食料とエネルギーの地産地消」を目標に掲げ、農地へのソーラーシェアリング導入を推進して耕作放棄地の増加をくい止め、農業経営の安定化を図るべきと考えます。また、このことを市民と協働で普及をはかれば新しいコミュニティが生まれます。	貴重なご意見ありがとうございます。 頂いたご意見は農業経営の安定化のために参考にいたします。
42	6	2	節全般	市内にはホタル自生地及び個々に活動している団体がある。ホタル連絡協議会(仮称)等を立ち上げ、保存・活動の活性化を図る。活動団体の活動支援策とし、シルバー人材センターを活用した人的支援を行う。所沢の玄関口にある東川日比田調整池をビオトープゾーンにする。	貴重なご意見ありがとうございます。 ホタルを含めた野生生物の生息・生育環境の保全に関しましては「4-2-2人と自然との絆の強化」に、市民協働による河川や湿地の保全に関しましては「4-2-3みどりと水の保全」に記載しています。 頂いたご提案につきましては、事務を進める上での参考にいたします。
43	4	3	評価指標	<引用> 第3節 循環型社会 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 市民1人1日あたりのごみの排出量 g/人・日 R4 R10 557.1 404 <引用終わり>  市民1人1日約150 g減らす方法の具体例を併記した方が良いと思います。 そうすれば、この計画書を拝読してくれた方が実際の行動を開始してくれる可能性があります。	貴重なご意見ありがとうございます。 計画冊子のレイアウト等の構成におきまして、用語解説や事例紹介等により掲載することを検討します。
44	4	4	4-4-5 化学物質の環境リスクの管理	米軍基地での化学物質、特に最近問題になり始めた「PFASの測定に市が関与できるようにする」と入れる。	貴重なご意見ありがとうございます。 米軍基地への環境に関する改善措置につきましては、日米地位協定において規定されているものでございますので、現行のままとします。
45	5	5		在留外国人(在留資格を問わず)の方々へアンケートを取ったり、行政としても対話をしていただきたい。それがそこで記載されている「外国人市民が暮らしやすい環境づくり推進」に繋がると考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 今後の事務の参考にいたします。
46	5	2	5-2-1 地域を牽引する事業者等への支援	5-2-1 「ソーラーシェアリング」への支援継続を明記する。	貴重なご意見ありがとうございます。 本計画は、施策の方向性や基本方針を示すもので個別具体的な施策に関しましては、本計画の記載内容に基づいて必要な事業を実施(実施計画に記載)してまいります。 なお、所沢市マチごとエコタウン推進計画にはソーラーシェアリングについて記載があり、令和6年度所沢市スマートハウス化推進補助金においても「ソーラーシェアリング」を補助対象としています。
47	5	2	5-2-3 農業の生産基盤・経営基盤の強化	5-2-3 新規農業参入者の年齢制限の上限を引き上げる。長寿化により、現状の年齢制限はせつかくの農業拡大を阻害している。	貴重なご意見ありがとうございます。 現在でも農業参入に年齢制限はありませんが、引き続き、将来にわたって地域農業の担い手となっていただける、新規就農者の受け入れに取り組んでまいります。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
48	5	3		所沢は無理に観光に力を入れることはしないで、住みやすい街にすることに注力して、町の魅力度を上げてはどうか。 サクラタウンのホテルのその後はどうなったのか？ 試しに泊ってみた経験からは、とてもではないが、お勧めできないホテルだった。	貴重なご意見ありがとうございます。  当市では、第6次所沢市総合計画とも関連する「産業振興ビジョン」の基本理念として「活力ある産業と豊かなくらしの融合で まちの魅力を飛躍させる ところざわ」を掲げ、住宅地と観光地が近接する当市にふさわしい観光振興策の在り方を検討し、住む人にとっても、訪れる方にとっても、より良い街となることを目指した取組を進めております。  なお、「ところざわサクラタウン」のホームページ上にて、「ところざわサクラタウン」内「EJアニメホテル」が令和5年5月31日をもって営業を終了し、閉館した旨公開されています。(令和6年6月20日時点)
49			第5章第3節、第6章第2節	新所沢パルコ撤退後の街づくりや未来像が見えて来ません。周辺地域では賑わいが失われています。市民をもっと巻き込んで、更に情報の公開を推進して、共にまちづくりを進めるようにしていただきたい。それがシビックプライドの向上にもつながります。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご提案の件につきましては、市民の皆さまの貴重なお声の一つとして承ります。 新所沢パルコの跡地活用につきましては、複数の地権者の意向等、市の意思決定によらない要因もありますが、できる限り早い段階で一定の方向性を示せるよう、市民の皆さまから頂いた声を踏まえまして、跡地の利活用に注力してまいります。市域の拠点となる駅周辺の活性化について第6章第2節に記載し、跡地の利活用が進むよう努めてまいります。
50	5	3	第5章第3節 観光・にぎわい 1)これまでの主な取り組み (第4章みどりあふれる持続可能なエコタウン、第6章自然と調和する住みよいまち)	「武蔵野の落葉堆肥農法」が世界遺産に認定されたとの記載がありますが、「落葉掃き」は所沢市でも長年農家と市民の協働によってイベントとして成功している良い例です。それを農業振興課が支援し続けています。この3者協働活動は追記すべき事項と考えます。 また、「雑木林の保全」は、第4章みどりあふれる持続可能なエコタウンと第6章自然と調和する住みよいまちにもまたがる課題でもあります。 市民が所沢市を住みよいまちと評価するのは「半いなか・半都会」という要素で、少し足を延ばせばそばに「畑や林」が存在することです。 この二つの章でいえることは「農」をまちづくりに含める視点が薄いことです。畑や屋敷林は農家の私有物ではありますが、所沢市の重要な「良いところ」です。これが、耕作を放棄されたり林が伐採され、倉庫、駐車場や産廃の置き場、中古車の保管場所等に変わりみどりが失われています。 ぜひ、畑・林をみどりとして横断的な視点でとらえた計画にしてください。	貴重なご意見ありがとうございます。 武蔵野の落葉堆肥農法は世界遺産にも認定され、地域の協働で維持されるべき貴重な地域資源と考えております。 また、本計画で表記している「みどり」は、樹林地のみでなく農地等を含めた広義の意味としており、広くみどりを捉えた計画でございます。 今後も横断的視点で取組を進めてまいります。
51			節全般	秋田家住宅を宮崎駿記念館として活用する。建物・土地は市が管理して製作・運営はジブリグループに依託する。	貴重なご意見ありがとうございます。 秋田家住宅に関する活用検討の参考にいたします。
52			節全般	銀座中央公園の通り面に旧建物を移築して野老澤まちぞうとして活用する。(灰屋or佐野屋)	旧建物の野老澤町造商店としての活用について、貴重なご意見をありがとうございます。今後の事務の参考にいたします。
53			節全般	旧庁舎跡地を公園化して旧建物を移築して駄菓子屋・醤油やきそば・武蔵野うどん・狭山茶等を提供する施設として地域のコミュニティーゾーンとし活用する。	貴重なご意見ありがとうございます。 周囲の歴史的な経緯や銀座通りも含めた地理的特性を考えると大きな可能性を秘めた場所であると考えております。 ご提案の件につきましては、市民の皆さまの貴重なお声の一つとして承ります。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
54	5	4	主な取組	外国人材向けの就職説明会の開催を希望。 「OPEN FACTORY TOKOROZAWA」は面白い取り組みなので、続けてほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 外国人向けの個別の説明会につきましては、今後の事業の参考にいたします。 「OPEN FACTORY TOKOROZAWA」につきましては、引き続き取組を続けてまいります。
55	5	5	評価指標	<引用> 第5節 国際化・多文化共生 3) 評価指標 指標名 単位 現状 目標 国際化・多文化共生に関する施策の満足度 % R5 R10 12.3 15.0 <引用終わり>  評価指標ですが、分母を外国人や障害者にした満足度で設定した方が良いと思います。これの方が満足していないのであれば、政策としては意味がないからです。満足度50%以上からはじめてみたらどうかと思います。	貴重なご意見ありがとうございます。 国際化・多文化共生に関する施策は日本人市民も対象としているため、評価指標の分母は外国人に限定せず、「市民」にしているものです。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
56	5	5	節全般	「外国人市民が暮らしやすい環境づくりを推進」すること自体は反対ではないが、川口市のクルド人問題のように地域に住まう日本人が蔑ろにされるような自体は必ず避けて欲しい。あくまで日本固有の尊重すべき文化やルールを曲げてまで、優先すべき事項ではない。警察や司法、または国や県の管轄になるかもしれないが、このような自体になれば所沢に住み続けることはできない。	貴重なご意見ありがとうございます。 多文化共生の意識を育む環境づくりとして、生活習慣や文化の違いを互いに尊重し、誰もが住みやすいまちを目指してまいります。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
57	5	5	5-5-2 外国人市民が暮らしやすい観光づくり	多文化共生のための拠点をパルコ跡地に作ってほしい。 外国人労働者向けの日本語講座を市が主催して開講してほしい。	貴重なご意見ありがとうございます。 ご提案の件につきましては、市民の皆さまの貴重なお声の一つとして承ります。
58	6	1	課題、6-1-4 基地返還と跡地利用の促進	基地全面返還はもっと強調すべき。	貴重なご意見ありがとうございます。 基地の返還運動に関しましては、早期全面返還を目指し、引き続き所沢市基地対策協議会等と連携しながら推進してまいります。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
59	6	1	6-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進(旧暫定逆線引き地区)	6-1-1 跡地の利用方法が未定の旧市役所、文化会館、新所沢パルコの活用方法・処分を早急に決めるべき。	貴重なご意見ありがとうございます。 旧市役所庁舎、文化会館につきましては、周囲の歴史的な経緯や銀座通りも含めた地理的特性を考えると大きな可能性を秘めた場所であると考えております。 ご提案の件につきましては、市民の皆さまの貴重なお声の一つとして承ります。 新所沢パルコの跡地活用につきましては、地権者の意向等、市の意思決定によらない要因もありますが、できる限り早い段階で一定の方向性を示せるよう、市民の皆さまから頂いた声を踏まえまして、跡地の利活用に注力してまいります。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
60	6	1	6-1-2 計画的かつ合理的な土地利用の推進(土地利用推進エリア・産業団地創出)	6-1-2 商業地を4拠点に:所沢駅西口に集中させるのではなく、東所沢、所沢、新所沢、小手指に作る。人口が激減している地方都市とは異なるまちづくりがあってしかるべき。コンパクトシティ構想は所沢にはなじまない。	貴重なご意見ありがとうございます。 所沢市都市計画マスタープランにおきまして、新所沢駅周辺、小手指駅周辺及び東所沢駅周辺は、市域全体を対象とした都市機能を集積し、広域的に市民の日常生活を支える「広域生活拠点」に位置付け、広域的な拠点の形成を目指した都市基盤の整備等の街づくりを進めております。 頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。
61	6	2	節全般	所沢駅周辺の開発は進んでいるが、新所沢駅や小手指駅など西側の開発も進めて欲しい。 特に新所沢はパルコ撤退のインパクトが大きい。またパルコと反対の東口になるが、スーパーが潰れたことにより、商店街が所沢駅に比べると縮小しているように見受けられる。	貴重なご意見ありがとうございます。 所沢市都市計画マスタープランにおきまして、所沢駅周辺のみならず、新所沢駅、小手指駅周辺についても、市域全体を対象とした都市機能を集積し、広域的に市民の日常生活を支える「広域生活拠点」と位置づけ、都市基盤の整備等の街づくりを進めております。 頂いたご意見を踏まえ、基本方針「6-2-3 市街地整備の適正な誘導(良好な市街地整備の推進)」において、市域の拠点となる駅周辺の活性化について記載いたします。
62	6	2	節全般	「所沢駅周辺のにぎわいのあるまちづくりの推進」に関して。 2020.3発行の都市計画マスタープランには広域中心拠点としての所沢駅に対し、新所沢、小手指、東所沢駅周辺に関して広域生活拠点として「市内全域対象とした都市機能を集積、広域的に市民の日常生活を支える拠点の形成をめざす」とあります。 しかし、当プランや本総合計画が発行された2020年時点以降、新所沢パルコと小手指西友の撤退という重大なイベントが発生しました。これら地域の中心店的店舗の閉店は、その周囲の商店の閉店を含め地域のにぎわい、買物、文化拠点の喪失として既に現れています。 パルコ撤退については地元町会・市議会特別委員会でも問題視されてきましたし、28期市民大学地方自治グループも問題提起し対策案も提示されています(28期市民大学「学びの記録」参照)。 今回の後期基本計画にはその重大イベント発生に伴う見直しと対策の姿勢が、当然示されるものと思っておりましたが一切有りません。市長が変わって新所沢駅周辺の賑わい対策担当を設けるとは聞きましたが、その活動状況は残念ながら一般市民には伝わってきません。 もし、所沢駅周辺の一極集中と周辺地域の衰退を是とするのであれば当基本計画に何も触れないという事は理解できますが、否とするのであれば明確に対策方針と具体的取組方法とを明示すべきと考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 所沢市都市計画マスタープランは、駅の利用者規模、土地利用の役割等に基づき、4つの駅について、それぞれ「広域中心拠点」「広域生活拠点」として位置付け、駅周辺の広域的な街の在り方を示したものであり、本計画とも連携して都市基盤の整備等の街づくりを進めております。
63	6	2	評価指標	●所沢駅の1日平均乗降者数 評価指標を、所沢駅の1日平均乗降者数&所沢市内の全駅の1日平均乗降者数に変更することを提案します。 新所沢パルコの営業終了に伴い、新たな新所沢駅周辺のまちづくりが必要な状況となっています。 所沢駅の1日平均乗降者数が増加しても、その一方で、所沢市内の他の駅の1日平均乗降者数が減少したら喜ばしい状況とは言えません。 適切な評価指標にするために、所沢市内の全駅の1日平均乗降者数を加えた方が良いと思います	貴重なご意見ありがとうございます。 後期基本計画の計画期間における市街地整備に関する施策として、所沢駅西口土地区画整理事業、北秋津・上安松土地区画整理事業が進められており、これらの事業により整備される住宅の居住者及び商業施設を訪れる人により所沢駅の利用者が増えることを想定し、所沢駅の1日平均乗降者数を指標としているものです。
64	6	3	その他	メインの道ではなく、ちょっとした脇道に入ると、用水路等のつくりの形状(溝)のため、自転車の車輪が取られる箇所が市内に幾つもあります。危うく転びそうになります。対策が必要と考えます。	貴重なご意見ありがとうございます。 現在、道路整備においては溝形状ではなく、蓋付きの側溝を設置しております。また、既存の道路で拡幅整備を伴う場合につきましては、整備に併せて側溝の改良を行っています。 なお、整備が完了している道路に関しましては、個別に対応いたします。

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
65			道路整備・西所沢駅渋滞	<p>【道路整備に関する意見】</p> <p>私は西所沢地区の住民です。現在、西所沢地区を通る線路沿いの道路は、特に夜や昼の混雑時間帯において混雑がひどく、通行に非常に時間がかかります。この問題は住民だけでなく、通勤や通学をする方々にも大きな負担となっています。関連する都市計画道路の整備が進んでいることは理解していますが、現在の状況を考えると、さらなる対策が必要だと感じています。特に、西所沢地区の線路沿いの道路に関しては、高架線化などの対策を早急を実施していただきたいと考えています。道路整備により、交通渋滞の緩和や安全性の向上が図られることが期待されます。住民の安全と快適な生活を実現するために、是非ともこの問題に対する解決策を早急に検討していただきたいと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>今後も、関連する都市計画道路について、優先整備路線を選定し、計画的に整備を進め、交通渋滞の緩和を図ってまいります。</p>
66	6	3	6-3-2 生活道路の整備推進	6-3-2 道路の速度制限の見直しが必要な道路有。50km→40km(新所沢スーパーオザム前)	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>道路の速度制限につきましては、所管が埼玉県警となりますが、頂いたご意見は今後の事務の参考にいたします。</p>
67	6	7	6-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進	6-7-1 高齢者や障害者が自立しやすい市営住宅の供給：玄関出入等	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>高齢者や障害者含め、様々な人が安心・安全な住環境となるよう、取組を進めてまいります。</p>
68	7	1		「国籍や人種、外見による差別をなくす」を入れる。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>「7-1-1 人権を尊重した社会づくり」において当該趣旨を含めておりますので、何卒、ご理解いただきますよう、お願いいたします。</p>
69	7	2		絆ミーティング(市民検討会議)への市民公募の告知はもっと広く伝えていただきたい。	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>本計画策定における市民検討会議の委員につきましては、「所沢市市民参加を進めるための条例」の規定を踏まえ、無作為抽出した市民による公募により行いました。次期計画の策定の際は頂いたご意見も参考としながら検討いたします。</p>
70	7	2	その他	<p>適切な時期(タイムリー)に市政情報を発信することを文言に加えて下さいます様お願い申し上げます。</p> <p>教育委員会事務局の情報開示が非常に遅いという印象があります。具体例を挙げると、令和6年2月16日に開催された所沢市社会教育委員会議の議事録の開示が5月15日、令和6年3月26日付の「公民館とまちづくりセンターの一元化についての意見書～一元化を機に人や組織がつながる充実した公民館へ～」の開示が5月13日にされています。両方とも3月末までに開示すべきだったと思います。また、両方とも5月1日からパブリックコメント手続きを行っている「所沢市まちづくりセンター設置条例」に関する重要な情報で、どんなに遅くても、パブリックコメント手続きの開始前に開示すべきだったはずですが、所沢市のホームページをいくら探しても見当たらないので、私が教育委員会事務局に問い合わせをしたところ、あわてて開示手続きを行ったようですが、市役所の職員としてのプロ意識がないように感じました。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>会議録の公開につきまして、ご指摘いただきありがとうございます。今後は、可能な限り、迅速に会議録を公開するようにいたします。</p> <p>また、ご意見を踏まえまして、本計画の基本方針に追記する方向で検討してまいります。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
71	7	2, 3	<p>評価指標</p> <p>●市の情報発信に対する満足度について</p> <p>●何事も自分事として考え、新たなことに挑戦する職員の割合</p>	<p>どちらも評価指標が適切ではないと思いますので、ご再考いただきたく存じます。そう思う理由は、下記の通りです。</p> <p>ここ最近所沢市のホームページを参照しているとミスが目につきます。「ハインリッヒの法則」とは、1件の重大事故の背後には、重大事故に至らなかった29件の軽微な事故が隠れており、さらにその背後には事故寸前だった300件の異常、いわゆるヒヤリハットが隠れているというものです。所沢市のホームページを参照していると、所沢市の業務でいつ重大事故が発生してもおかしくない状況だと思えてなりません。</p> <p>以下は私がここ最近気がついたミスです。(全部書いた訳ではありません。)なお、私が気がついただけで、これだけあるのですから、実際にはもっとあると思います。</p> <p>&lt;1&gt;【7月6日】普通救命講習会 → 電子申請の設定が適切に行われてなく、電子申請できない状況でした。現在は、電子申請可能になっています。</p> <p>&lt;2&gt;パブリックコメント 所沢市まちづくりセンター設置条例(素案)についてご意見を募集します → 電子申請の設定が適切に行われてなく、電子申請を行うのが非常に困難な状況でした。所沢市の本件の担当部署は、私が5/1に発信した「市長への手紙」をきっかけにそのことに気がついたようですが、5/12時点で必要な対応が完了していません。言い換えれば、電子申請を行うのが非常に困難な状況が今も継続しています。</p> <p>&lt;3&gt;第6次所沢市総合計画後期基本計画(素案) のパブリックコメントの手続き、つまりこのパブリックコメントの手続きが行われていますが、この関連項目である「所沢市総合計画実施計画(2024～2027)」の市ホームページのコンテンツが正しくありませんでした。具体的に言えば、所沢市総合計画の実施計画の策定に関する要綱の最新版は、令和4年版ですが、平成29年度版になっていました。5/7に経営企画課 にその旨お伝えして、コンテンツの訂正をお願いしました。現在は、コンテンツは正しくなっています。6次所沢市総合計画後期基本計画(素案)は、経営企画課が取りまとめをされているようですので、その部署が適切な情報発信ができていないということになります。したがって、私は、&lt;1&gt;や&lt;2&gt;と比較して、より深刻だと思えます。</p> <p>上記の3つは、どれも、1) 担当が必要な準備を行う。2) 上司が必要な確認を行った上で承認(=決裁)をした後に所沢市のホームページに公開され、市民が参照することができるようになるものです。ヒューマンエラーはつきものですが、担当と上司が必要な確認をしていけば、このようなことは避けることが可能はずだと思います。あくまで、推測ですが、担当は作成後確認をしなかった、上司はいわゆるめくら判をしたとしか思えません。</p> <p>また、上記の所管の部署には、担当、承認(=決裁)をした上司以外の職員がいるはずで、これらの職員が、いわゆるスキマ時間に、所沢市のホームページをクリックし、自分たちの部署が発信情報が適切に発信されているかを確認する習慣があれば、仮に間違いがあったとしても、私が指摘をする前に確認され、訂正されていたはずだと思います。なお、この確認は3分あれば十分でしょう。これらのことから、所沢市役所がONE TEAMとして市の業務を行っていないように、私は感じました。</p> <p>市の情報発信が正確でない、基本的な業務に進め方に問題がある状況で、この2つの評価指標は適切でないと思います。上記のような状況になった根本原因は、PCDAの方法に問題があると思われる。再発しないように、あわせてPCDAの方法の再検討していただければありがたく存じます。</p>	<p>電子申請の設定及びホームページコンテンツの誤りにつきましてご指摘いただきありがとうございました。確認が十分でなく申し訳ございませんでした。</p> <p>PDCAの方法の再検討につきましては、各業務各所属単位における確認やホームページ公開段階における確認等について適切に行われるよう全所属に共有いたします。</p> <p>評価指標「何事も自分事として考え、新たなことに挑戦する職員の割合」につきましては、行政経営の視点から、業務の改善意識を捉える指標として設定いたしました。</p>
72	7	3	<p>評価指標</p>	<p>第3節 人材育成・組織体制の 評価指標ですが、例えば、「市長への手紙」等で職員の接遇についてご指摘を受けないこと0件のように変更することをご提案します。もちろん、虚偽の指摘はカウントしません。ご提案した評価指標は、令和5年度第9回「政策会議」発議・報告事項 をもとにしました。</p> <p>&lt;令和5年度第9回「政策会議」発議・報告事項 から引用&gt;</p> <p>開催日 令和5年7月18日(火) 午前9時から 午前10時10分まで</p> <p>1 市長指示事項「超親切的な市役所」として「お助け人登録制度」など色々と取り組みをして もらっているが、最近の「市長への手紙」で職員の接遇についてご指摘を受け ることが増えてきているように思う。改めて、市民の皆さんに笑顔で接するなど、「超親切的な市役所」を意識して 業務に従事してもらいたい。市役所に来てよかった、所沢に住んでいて良かったと思ってもらえるような対応をお願いしたい。</p> <p>&lt;引用終わり&gt;</p> <p>「職員の接遇についてご指摘を受けることが増えてきているように思う。」というのは言い換えれば、役割をきちんと果たしていないということだと思います。現状では、職員に対するアンケートで「自ら新たな挑戦をした」と回答する職員の割合を令和10年度までに 60.0%以上をめざすとしています。しかし、職員の中には、ご家庭の事情で、育児や介護、病気療養をしながらの勤務で、職務上自ら新たな挑戦をする余裕はないがご自分の役割をきちんと果たし、厳しい環境の中で、市民に寄り添うご対応をして下さっている方も大勢いらしゃると思います。このような境遇の職員は、将来状況を乗り越えたときに、同じような立場になった職員を支援し、心の支えとなると思います。「自ら新たな挑戦」という評価指標は、このような立場の職員の方々のモチベーションを下げ、やり場のない気持ちにさせるように感じます。一市民の立場から、申し上げると「自ら新たな挑戦をした」かどうかよりも役割をきちんと全うしていただく職員の方がはるかにありがたいです。ご再考いただくと幸いです。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、職員はそれぞれ境遇が異なると思われませんが、職員としての役割を全うすることは大前提であると考えております。</p> <p>その上で、期待に応え、信頼される行政運営を進めるために必要な指標として設定したものです。</p> <p>なお、接遇は、市民の皆さまから信頼されるために重要なことであると認識しておりますので、評価指標とは別に、さわやか対応マニュアルや研修等により、全職員が徹底できるよう努めてまいります。</p>

No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
73	7	3		<p>・全国的な問題ではあるが職員の半数近くが非正規雇用とあると聞いています。給与を含めた処遇の向上、更に正規雇用を促すことも経済効果に繋がると考えます。</p> <p>・メンタルヘルス対策としてストレスチェックだけでなく、医療センター等の人的資源(専門家)も利用して、相談できる体制が必要かと思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>会計年度任用職員等の報酬等につきましては、人事院勧告の趣旨を踏まえ、国、県、他の地方公共団体及び民間同職種の賃金水準並びに財政状況を考慮して定めていきます。また、現在任用している方も受験資格があれば、採用試験を受験いただくことは可能です。</p> <p>メンタルヘルス対策といたしましては、「ストレスチェック」のほかに、精神科医や精神保健福祉士による「こころの健康相談」、職員課保健師による相談を実施しておりますので、基本方針7-3-2にも追記する方向で検討してまいります。</p>
74	7	4	評価指標	<p>第4節 行政経営 実施計画における事業目標の進捗率 評価指標の説明に第6次所沢市総合計画後期基本計画の事業進捗を測る指標です。 数値は、「第6次所沢市総合計画後期基本計画実施計画」に掲げる事業目標のうち、80%以上進捗している事業の割合です とあります。</p> <p>市ホームページのキーワード検索を使って「第6次所沢市総合計画後期基本計画実施計画」で検索しましたが、検索式にマッチする文書はありませんでした。とのことでした。</p> <p>誰もがわかるように、書いて欲しいと思います。市ホームページのキーワード検索を使っても、検索できない用語は使わないで欲しいです。</p> <p>また、この評価指標は適切でないと思いますので、ご再考をお願いしたいです。例えば、消防団員の確保 285人という評価指標があります。285人の80%は228人です。R4の消防団員は270人なので、R4よりも消防団員が減少しても、この評価指標上では、評価指標の達成の1項目してカウントされてしまいます。この計画期間は令和元年度から令和10年度で、令和10年度は最後の年なので、あわせて、進捗率60%未満のものが1つもないこと という下限の設定も設定し、いわゆるandでの評価指標にする必要があると思います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>「第6次所沢市総合計画後期基本計画実施計画」という記載につきましては、現在策定中である後期基本計画の計画年度が始まる令和7年度を見据えて記載しているものであり、現時点ではまだ策定されておられません。令和6年度時点で該当するものは「前期基本計画実施計画」となります。</p> <p>進捗率につきましては、基準年度からの目標年度までの増加(減少)量に対して、とれだけの成果が挙げられたかという視点において原則算定します。このため、例に挙げられている「消防団員」で説明しますと、進捗率80%は、<math>(285人 - 270人) \times 0.80 = 12人 \rightarrow 270人 + 12人 = 282人</math>となります。(※228人≠進捗率80%)</p>
75	7	4		<p>地元の大学等の連携もしていると聞いていますが、具体的な指針や成果(どのように活かしているか等)や今後の方針が見えて来ません。情報公開・共有を図っていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>市内の大学等とは連携協定のもと、相互の事業に協力しているところです。ところざわほっとメールや市ホームページ、広報においても公開しておりますが、入手しやすい情報提供に関しましては今後も検討してまいります。</p>
76			全体	<p>後期基本計画の章名と章立てが、P.6の後期基本計画・リーディングプロジェクトに表記されている名前および位置づけに変更されていません。全体に見直すべきと考えます。</p> <p>例)第2章「子どもが大切にされるまち」⇒「子どもを中心としたまちづくり」に名称を変更し第1章に持ってくる。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>各章は、基本構想に掲げた「まちづくりの目標」と対応しているものです。</p> <p>なお、リーディングプロジェクトは、将来都市像を実現するための優先的な取組として、7つの「まちづくりの目標」とは別に設定しているものです。</p>
77			全般	<p>評価指標に限られ、各基本方針においても記述の具体性のなさを感じます。計画が「机上の空論」「絵にかいた餅」とならない事を願います。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>各基本方針につきましては、本計画を踏まえた実施計画においてそれぞれ頂いたご意見を踏まえ、事業目標の設定の検討を進めます。</p>
78			全般	<p>1)本計画策定に当たって、私が最初に持った問題意識は「市民との協働」で進めるべきではなかったのか、と言う問題意識です。</p> <p>2)事前に行政職員が詳細を詰めた後でできた素案を「市民の声」を反映させるために、パブリックコメントを実施しても、(従来は)良い意見であっても従来は「今後の参考にさせていただきます」と事実上は無視されてしまうことが多くありました。新市長のご指導の下で、市民の意見もある程度は採用されるとしても素案作成の段階から「協働で」作成した場合に比べればどうしても「行政寄り」に偏ることは避けられません。</p> <p>3)全国の自治体で、最初から「行政と市民が協働して」作成している事例は沢山あります。例えば「横浜市」「鳴門市」など多数ありますし「当麻市長時代の所沢市」でも、策定の最初から、市民と行政が「協働で」作成しています。</p> <p>4)今回の例で言うと、「中核市への移行準備」の検討組織は行政職員だけで行っています。これを「検討の策定課程」での「絆ミーティング(市民検討会議)」のように、原案策定段階から「市民との協働」で作成できなかったでしょうか。行政が作成した素案に対してパブリックコメントするのと、原案策定を協働で作成するのでは基本的に違います。</p> <p>5)現実的に判断すれば、既に素案自体はできあがっていますので、事実上、パブコメが正当に評価して頂けることを祈ります。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。</p> <p>1)、2)、3) 市民との協働につきましては、策定の初期段階から市民検討会議と職員プロジェクトチームとの合同会議「絆」ミーティングの実施や、総合計画審議会への市民委員の参画等により市民参加に努めてまいりました。具体的には、「所沢市市民参加を進めるための条例」の規定を踏まえ、無作為抽出した市民の皆さまから公募を行い、募集枠を超えるご応募をいただきました。頂いたご意見は次期計画策定の際に参考にいたします。</p> <p>4) 「中核市への移行準備」につきましては、移行による課題抽出等を目的に、行政内部組織による検討を進めております。移行に向けては、パブリックコメント等により市民の皆さまのご意見をお聞きしながら進めてまいります。</p> <p>5) パブリックコメントで頂いたご意見は、市民の皆さまの貴重なお声として、可能な限り、これを踏まえながら、計画策定を進めてまいります。</p>



No.	章	節	項目	ご意見	市の考え方
79			全般	<p>1)もう一つ気になる点は、この素案を通じて具体的な「評価指標」が少なく抽象的な目標が多いことです。これでは事後に評価する際にも抽象的な評価になってしまいます。もっと具体的な「評価指標」を多数設けるべきです。</p> <p>2)一例を挙げます。  「脱炭素社会」の評価指標が、温室効果ガス排出量の削減率だけでは抽象的で不十分です。具体的に、例えば、  ①屋根上の太陽光発電:1. 公的設設の屋根:〇〇kW  2. 個人の家の屋根の上:〇〇kW  ②耕作放棄予定地⇒ソーラーシェアリング:何基〇〇kW  ③風力;  ④バイオ:  等きめ細かい具体的な政策目標が必要だと思えます。</p> <p>3)これはほんの一例です。似たような例は無数にあります。これも「官民協働」で素案を作成すれば埋まっていたと思えます。</p>	<p>1)、2)、3)  評価指標につきましては、各節の成果指標としての性質を意識して各節概ね1つの指標を設定いたしました。具体的な事業進捗を測る指標につきましては、基本計画を基に作成する実施計画において設定し、行政評価において進捗管理を実施してまいります。</p>
80			全般	<p>第6次所沢市総合計画後期基本計画素案の中に、所沢市 電子申請・届出サービス(以下「電子申請」といいます)で使用できない文字コードが含まれている。「電子申請」で使用できない文字コードは使用せずに、「電子申請」で使用できる文字コードに置き換えをしていただきたい。</p>	<p>貴重なご意見ありがとうございます。  電子申請で使用できない文字コードにつきましては、計画素案全体を見直し、適切に修正いたします。</p>